

令和5年1月5日

荒川区長  
西川 太一郎 様

自由民主党荒川区議会議員団

土橋 圭子 鎌田 理光 町田 高 中島 義夫  
菅谷 元昭 明戸真弓美 茂木 弘 並木 一元  
斎藤 泰紀 北城 貞治 志村 博司

### 学校給食の無償化に関する緊急要望

厚生労働省の発表によれば、令和4年の国内の出生数は初めて80万人を割る見通しとなり、推計より8年も早いペースで少子化が進み、人口減少が加速するおそれのある危機的な状況にあります。こうした状況を踏まえ、国では、異次元の少子化対策として経済的支援の強化や幼児教育・保育サービスの拡充等の方針を打ち出し、都においても子育て支援施策を重点的に推進する方向性を明らかにしています。

この間、区においては、我が団の各種要望に真摯に応え、ハード・ソフト両面にわたり子どもを産み育てやすい環境の充実を図り、子育てのしやすい街としての評価を内外に定着させ、転入者や出生数の増加につなげるなどの成果を上げてきたことを評価しています。一方で、直近2年間は、コロナ禍も重なり、区内の出生数と年少人口のいずれも減少に転じるなどの憂慮すべき事態に直面しており、国や都による対策の動きと合わせて、地域全体で子育てを支える取組の更なる充実が急務となっています。

そうした取組の一環として、自由民主党荒川区議会議員団は、現下のコロナ禍における物価高騰等の厳しい局面にあっても子ども達の健やかな成長に欠かせない安心で充実した食を安定的に提供できるよう、現在実施している区立小・中学校における食育推進給食を更に発展させる形で、下記の取組を速やかに実施されるよう、緊急要望いたします。

### 記

- 1 栄養バランスの取れた食を通じて子ども達の健やかな心と体を育む食育教育を一層推進するため、区立小・中学校の給食を無償で提供すること。
- 2 上記の取組を含め、次代を担う子ども達の健やかな成長を支えるための必要な環境は、国の責任において全ての子どもに対して等しく提供されるべきものであることを踏まえ、国に対して財源措置の充実を強く求めること。